



消防団が解体予定の建物を活用した訓練を実施します ～より実践に即した訓練で災害対応能力を強化します～



大規模災害等の発生により、消防力が劣勢となり、消防団が主体となって火災対応を求められる事態を想定した訓練で、解体予定の建物を活用することで、より実践的に、迅速かつ的確な火災対応能力を習得します。

■日時

令和7年（2025年）11月9日（日）午前9時30分～11時30分

雨天決行

■場所

旧市営下大脇住宅（東海市荒尾町下大脇7）

■訓練内容

実際の建物を（解体予定の長屋住宅）を活用して、以下の訓練を行います。

- ① 火災建物（想定）を、早期鎮圧するため、屋外からの効果的な放水要領について確認します。
- ② 火災建物（想定）に隣接する建物を火災から防ぐため、延焼防止を目的とした放水要領について確認します。
- ③ 火災建物（想定）が水利から遠方である場合を想定し、保有する小型動力ポンプを活用して、中継送水要領を確認します。



■参加者

消防団員（女性団員含む）及び消防職員（指導者）

■その他

訓練場所の詳細等は以下の地図を参照してください。



【参考】



（訓練レイアウト図）

※駐車場については、当日、職員が誘導します。

問合せ	消防本部庶務課 担当：山内（やまうち） 0562-32-1178、0562-36-0119（内線 2 4）
-----	---